

自然学習講座

テーマ：はじめてのコケ観察会

日時：令和6年4月20日(土) 10時から12時まで(雨天決行)

講師：藤井 久子(岡山コケの会、日本蘚苔類学会会員)

参加費：無料 定員：20人(小学4年生以上)

申込開始：令和6年3月26日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年4月2日(火)まで電話で受付し、応募者より抽選。



道路わきなど身近な場所で見られる
コケの生態について案内します。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであればルーペをご持参ください。
※ 小学生は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト 入選作品発表

令和6年
2月22日(木)
より発表

葛飾区内で撮影された、様々な生きものの作品展示の中から、来館された方からの投票で、入選した4作品を発表します。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 2月20日

(通算第203号)



水元小合溜の生きもの:193

東京都の鳥として有名

ユリカモメ

チドリ目カモメ科

全長 37~43cm

時期 9~4月頃

別名『都鳥(みやこどり)』とも呼ばれ、昭和40年に東京都の『都民の鳥』に指定されました。東京港を走る東京臨海新交通臨海線の電車にも、この鳥の名前が使われています。



▲東京臨海新交通臨海線『ゆりかもめ』



頬に黒い点

冬羽▶

くちばしと脚は赤い

目の周りは白い

夏羽▶

冬は色白 夏は顔黒

日本では主にシベリアやカムチャツカ半島から飛来する冬鳥です。海岸や河口でよく見られますが、内陸の水辺にも飛来し、2月の水元公園では125羽が確認されています。

白い冬羽の姿が印象的ですが、夏羽は頭に黒い頭巾を被ったような色で、春の渡りが始まる4月頃には、夏羽に換羽した個体も見られます。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



2/14 **カワセミ** 水元かわせみの里でほぼ毎日見られる。かわせみの里の工事が終わり、目立つ所にとまるようになった。



2/17 **カイツブリ** 水元かわせみの里で潜って魚を食べる姿が見られた。ここ数年は2羽揃って姿を見ることが多い。



2/17 **ミスジハエトリ** 水元かわせみの里に設置したむしむしハウスの中で越冬していた。背中の中本の線が特徴。



2/16 **チャコウラナメクジと卵** 野草園の朽木の裏に隠れていた。白い塊は卵で春先によく産卵する。



2/5 **ホトケノザ** 紫色の花を咲かせていた春の草本。日当たりのいい草地によく生えるため、水元公園中で見られる。



2/5 **ヤハズエンドウ** 紫色の花を咲かせていた春の草本。水元公園中で見られ、茎にはよくアブラムシがつく。



2/5 **ヒメオドリコソウ** 小さな桃色の花を咲かせていた春の草本。水元公園中で見られる。茎が四角いのが特徴。



2/5 **オオイヌノフグリ** 青色の花を咲かせていた春の草本。水元公園中で見られる。花にはハエの仲間が良く集まる。



2/17 **コブシの花芽** キャンプ場手前のヨシ原で見られる。フサフサの毛皮のコートのような姿で冬をしのいでいた。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム

「春を待つコブシの花芽」の話

2月15日、昨年より2週間ほど早い春一番が吹きました。気候もすっかり春めいて、足元には続々と、春の草本が芽吹いています。これから様々な春の花が咲くと思いますが、厳しい冬をしのぎ、春を迎えてすぐ花を咲かせるのは草本だけではありません。早春に大きな白い花を咲かせるコブシ(9)の木もまたその一つです。まだまだ冬の寒さの残る時期に咲く白い花はとても目立ちますし、花はとても良い香りがするため印象に残ります。

コブシは、早春を迎えてすぐ花を咲かせるための様々な仕組みを備えています。花の子供ともいえる花芽は、7月頃に出来始めます。そして冬を越えて春に花を咲かせるのですが、冬の寒さをしのぐため、ふわふわした触感の毛皮のコートのようなものをまといまいます。春が近づくにつれ花芽は少しずつ大きくなりますが、冬季には花芽の中の花はもう殆ど完成しており、一つだけ拝借して花芽を割ってみると、中に閉じ込められていた芳香が溢れます。美しい白い花を咲かせ、手ざわりの良い毛皮をつけ、香りもとても良いコブシは、観察していてとても楽しい植物です。

早春の、まだまだ冬の寒さの残る時期にも、様々な花が咲きます。足元や木の上など、ぜひ色々な所に注目してみてください。きっと春の見え方が変わってくると思います。(野間)



ボランティア活動報告

『むしむしハウス』の移設と手直しをしました！

むしむしハウスとは、冬越しする虫たちの隠れ場所となるよう、植物の枝や石などを集めて隙間を集合したものです。元々は施設入口の通路脇に設置していたのですが、10～1月の外壁工事に伴いパーゴラへ移していました。2月11日(日)にこれを元の場所へ戻しました。



移設する前に、今はどんな生きものがあるのか中の材を取り出して調べました。



ハエトリグモやカメムシの仲間など、たくさんの虫を見つけました。



骨組みの移設はボランティアさんが担当し、材の詰め直しはキッズたちが担当しました。



これからもいろんな虫が利用する様子を、ぜひ観察してみてくださいね！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 2月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

2月の見頃

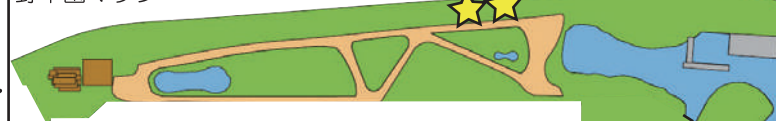
フキ

早春の頃に、薄っすらと黄色い花を咲かせます。はじめは地表に埋もれるように花芽をつけますが、花芽が開花していくと共に、茎を伸ばして地表に顔を出し、春の訪れを感じさせてくれます。

花芽は『露の臺(ふきのとう)』と呼ばれ、天ぷらで美味しく食べられます。▶



野草園マップ



見られるポイントはココ！